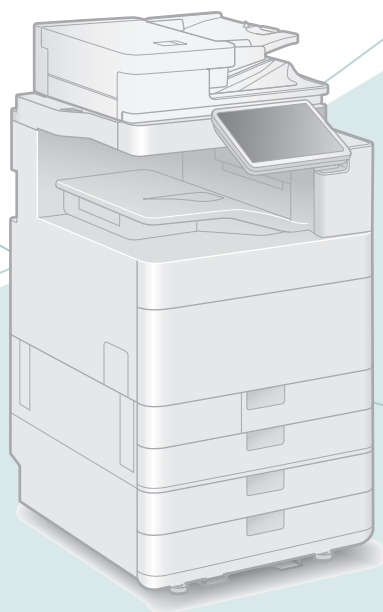


Canon

**imageRUNNER
ADVANCE DX
6000**

お困りごと
解決ガイド



お困りごとはなんですか？

ご使用前に必ず「安全にお使いいただくために」を
お読みください。➡ 40ページ

お読みになった後は

本書は将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

※本書の内容は予告なく変更することがありますのでご了承ください。



本機の全機能は、ユーザーズガイド
で説明しています。

<https://oip.manual.canon/>
でご覧いただくことができます。

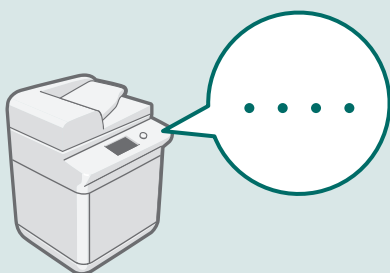


目次

お困りごととはなんですか？

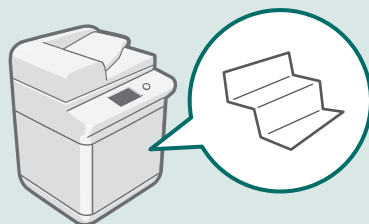
目次からお困りごとを探し、対処方法を確認してください。

本機が動作しない ➡ P.4



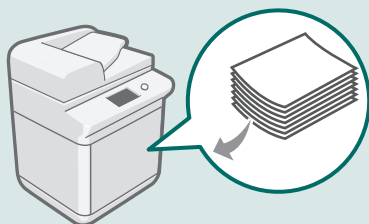
- まずここを確認してください 4
- パソコンの操作に反応しない 5
- 認証画面（ログイン画面）が
表示され先に進めない 5

用紙がつまる ➡ P.20



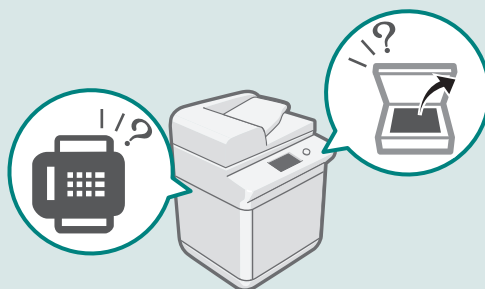
- 用紙がつまった 20
- ひんぱんに用紙がつまる 21

用紙のセット方法 ➡ P.6 を知りたい

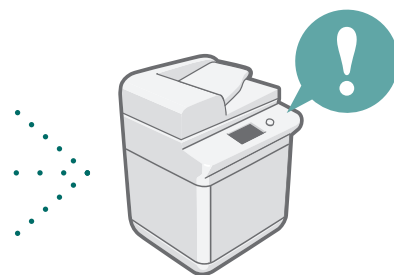


- 給紙力セットにセットしたい 6
- 違う種類の用紙と交換するときは 7
- 手差しトレイにセットしたい 8
- ロゴ付きの用紙をセットしたい 9
- 封筒をセットしたい 10
- はがきをセットしたい 14

スキャン／ ファクスがうまくいかない ➡ P.26

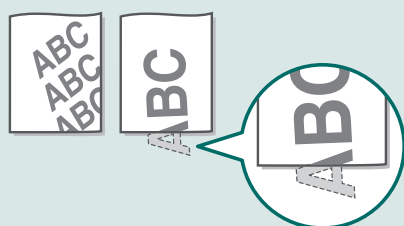


- 「スキャンして送信」で
サーバーに原稿を送れない 26
- スキャン／ファクスを中止したい 26
- スキャン文書をメール送信できない 27
- ファクスが送信・転送できない 28
- ファクスが受信できない 29



きれいに 印刷できない

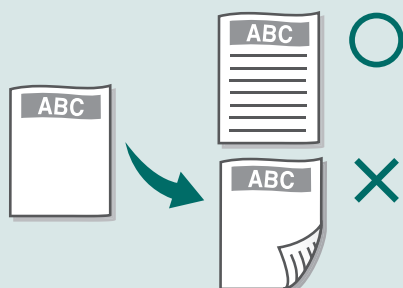
➡ P.16



- 印刷画像がずれる／斜めになる 16
- 画像にムラがある／かすれる 16
- 黒いすじがつく 17
- 白いすじがつく／すじ状に色がかわる ... 18
- 裏写りする 19

用紙のセットや 設定がうまくいかない

➡ P.22



- 用紙が給紙されない 22
- 「用紙がありません。」や
「用紙なし」と表示される 23
- 意図した面に印刷されない 24
- 思った通りのサイズで印刷されない 24
- 両面印刷で裏表の向きが合わない 25

➡ コピー／プリントを
中止したい P.30

➡ プリンタードライバーの
インストール方法が
わからない P.31

➡ 消耗品を交換したい P.32

➡ エラー画面が
表示される P.34

➡ イラストさくいん P.36

➡ 付録 P.40

➡ もっと詳しく
知りたいときは？ P.47

- ユーザーズガイドで調べましょう！ ... 47
- 本書の項目に検索番号がついていたら 47

本機が動作しない

まずここを確認してください

確認! ①

タッチパネルディスプレイに
メッセージが表示されていませんか？

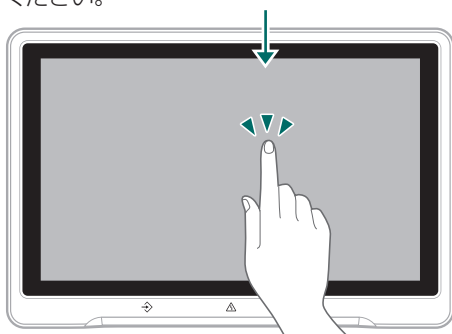


メッセージが表示されたら ➡ P.34

確認! ②

スリープモードになっていませんか？

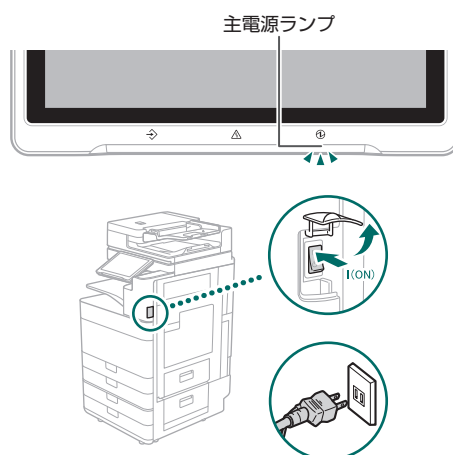
タッチパネルディスプレイをタップして、
スリープモード（節電状態）を解除して
ください。



確認! ③

主電源ランプが消灯していませんか？

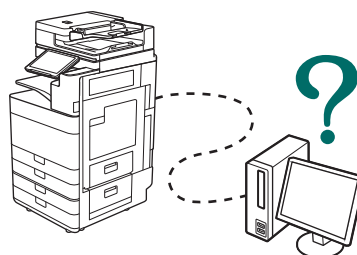
電源を入れても点灯しない場合は、電源
プラグを確認してください。



確認! ④

パソコンに正しく接続されていますか？

ネットワーク接続を確認してください。



ネットワーク環境を設定する ➡ ユーザーズガイド

0YAS-006

検索

検索番号の使いかた ➡ P.47

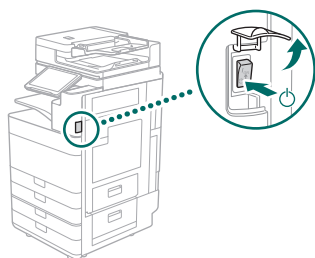
パソコンの操作に反応しない

確認! ①

本機を再起動してください

- ① 電源スイッチを押して、電源を切る

❗ 電源を切ると、待機中のデータは消去されますのでご注意ください。



- ② 主電源ランプが消灯したことを確認する

- ③ 再び電源スイッチを押す

確認! ②

ドライバーは正しくインストールされていますか？

ドライバーをインストールしなおしてください。

- 💡 詳しく知りたいときは ➡ P.31

確認! ③

IPアドレスは正しいですか？

IPアドレスの設定を確認し、正しくない場合は設定しなおしてください。

IPアドレスを設定する ➡ ユーザーズガイド

OYAS-00K

🔍 検索



検索番号の使いかた ➡ P.47

認証画面（ログイン画面）が表示され先に進めない

確認!

登録済みのユーザー IDでログインしてください

認証画面（ログイン画面）が表示されている場合、操作を続けるには、あらかじめ登録されたユーザーによるログイン操作が必要です。

ログインする ➡ ユーザーズガイド

OYAS-022

🔍 検索



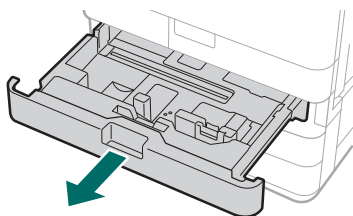
検索番号の使いかた ➡ P.47

用紙のセット方法を知りたい

給紙カセットにセットしたい

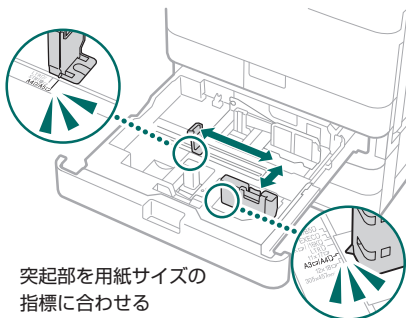
共通の操作は、給紙カセット2 を例にして説明します。

1



2

水色のつまみをスライドさせて、用紙ガイドを調整する



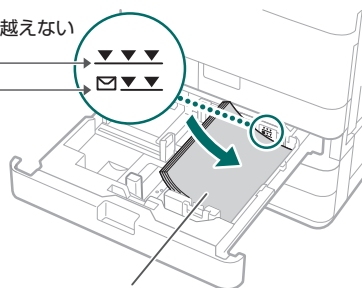
突起部を用紙サイズの指標に合わせる

3

用紙をよくさばいてからセットする

この線を越えない

用紙
封筒



プリントする面を上

用紙のセット方向



4

カセットを本体に戻す



カセットと本体のすき間に指をはさまないように注意してください。



用紙のサイズを変更したときは、必要に応じて用紙サイズラベルを貼りかえてください。➡ P.36

違う種類の用紙と交換したときは、続いて用紙種類を変更してください。➡ P.7

使用できる用紙は、以下のページから確認することができます。

用紙について

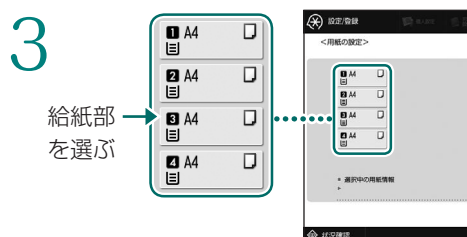
AVPP-TBM

検索

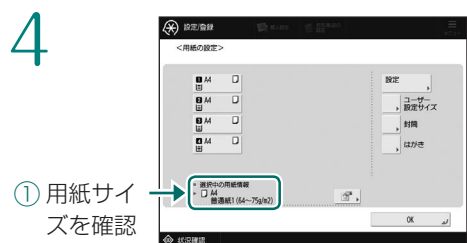


検索番号の使いかた P.47

違う種類の用紙と交換するときは

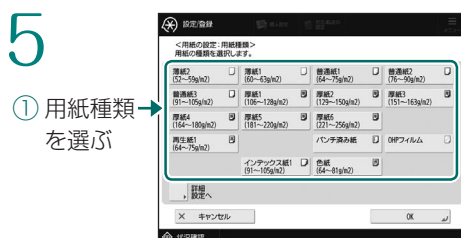


①、② 以外の給紙部はオプションです。
詳しく知りたいときは
➡ ユーザーズガイド



① 用紙サイズがセットした用紙と異なっていたら、用紙ガイドの位置を調整してください。

② [設定] を押す



① 必ず、坪量が合致する用紙を選んでください。

② [OK] を押す

6 [OK] を押す

定形サイズ以外の用紙をセットしたときは

手で用紙サイズを設定します。

給紙力セットの用紙サイズと種類を設定する ➡ ユーザーズガイド

OYAS-02E

検索



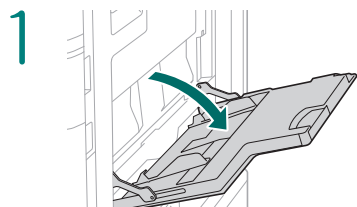
検索番号の使いかた P.47

違う種類の用紙と交換するときは

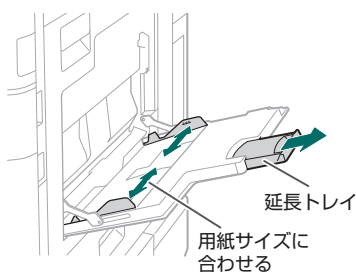
用紙のセット方法を知りたい

手差しトレイにセットしたい

❗ コート紙など、紙送りがうまくできない用紙の場合は、1枚ずつセットしてください。

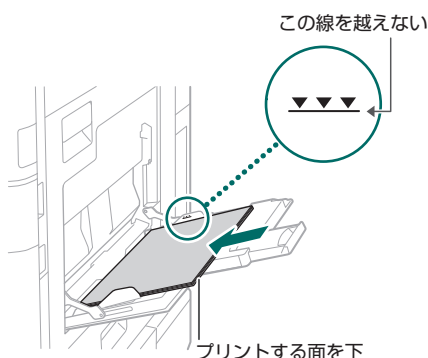


2 用紙ガイドを調整する



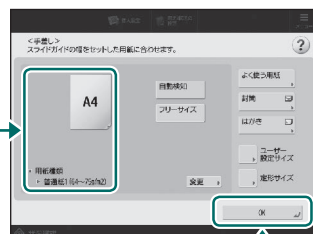
💡 大きなサイズの用紙をセットするときは、延長トレイを引き出してください。

3 よくさばき、平らな場所で用紙の端をそろえてからセットする



4

① サイズ・種類を確認



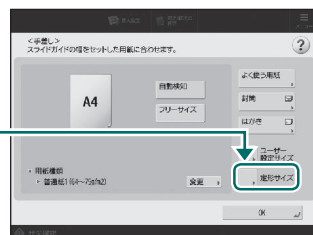
② 押す

■ サイズや種類がセットした用紙と異なる場合は

手順4の画面で、手動で設定を変更します。

1

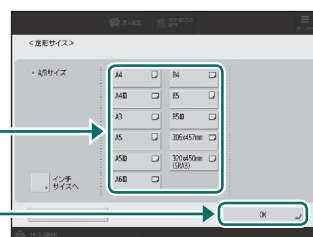
押す



2

① 用紙サイズを選ぶ

② 押す



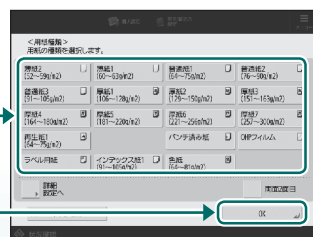
3

【用紙種類】の【変更】を押す

4

① 用紙種類を選ぶ

② 押す



使用できる用紙は、以下のページから確認することができます。

用紙について

AVPP-TBM

検索



検索番号の使いかた P.47

定形サイズ以外の用紙をセットしたときは

手で用紙サイズを設定します。

手差しトレイの用紙サイズと種類を設定する ユーザーズガイド

OYAS-02F

検索



検索番号の使いかた P.47

印刷済み用紙のウラ面に印刷するときは

- ① プリントする面を下にして手差しトレイにセットする
- ② [用紙種類] の選択画面で [両面2面目] を押す



手差しトレイにのみセットできます。


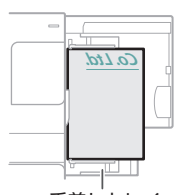

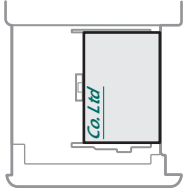
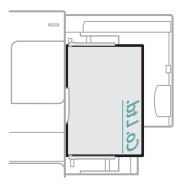

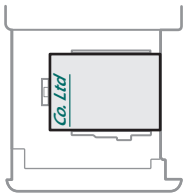


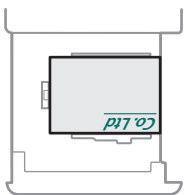




本機で印刷した用紙のみ使用できます。

ロゴ付きの用紙をセットしたい

下表を参考に正しい向きにセットしてください。

例) A4サイズの下紙にプリントする場合

置きかた		印刷結果
給紙カセット1 / 給紙カセット2 ※給紙カセット2を例にしています。	手差しトレイ	
 給紙カセット		
 給紙カセット		
 ※カセット2のみ		
 ※カセット2のみ		



ロゴ付きの用紙にコピーする場合 ユーザーズガイド



用紙セットの基本操作

給紙カセットの場合 P.6

手差しトレイの場合 P.8

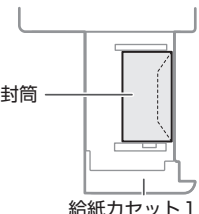
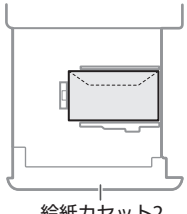
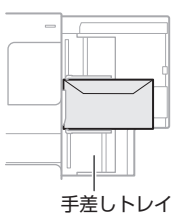
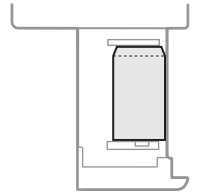
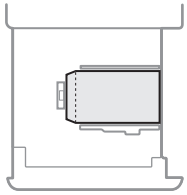
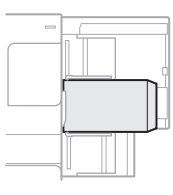
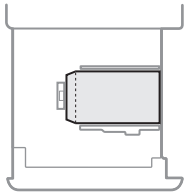
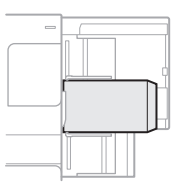
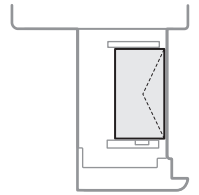
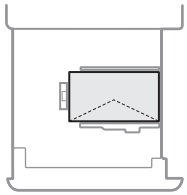
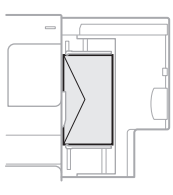
手差しトレイにセットしたい

ロゴ付きの用紙をセットしたい

用紙のセット方法を知りたい

封筒をセットしたい

- ・ 給紙カセット、および手差しトレイにセットできます。
- ・ 封の部分にのりが付いた封筒を使用すると、定着器の熱や圧力により、のりが溶けることがあります。
- ・ 封筒のウラ面（貼り合わせがある面）にはプリントしないでください。
- ・ 給紙カセットの場合は封筒のオモテ面を上にして、手差しトレイの場合は封筒のオモテ面を下にしてセットします。セットする向きは下の表をご覧ください。

	給紙カセット1	給紙カセット2	手差しトレイ
洋形長3号	 <p>封筒</p> <p>給紙カセット1</p>	 <p>給紙カセット2</p>	 <p>手差しトレイ</p>
長形3号			
角形2号	—		
Monarch* COM10 No.10 DL ISO-C5			

* 給紙カセット1にはセットできません。

使用できる用紙は、以下のページから確認することができます。

用紙について

AVPP-TBM

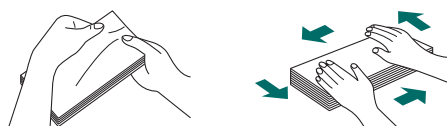
Q 検索



検索番号の使いかた ➡ P.47

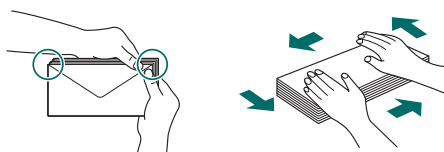
■ 封筒をセットする前の準備

- 1 5枚ほど手に取り、よくさばいてカー
ルを取り、平らにならす



四辺の折目をしっかり付ける

- 2 封の部分がめくれないよう四隅をし
っかり押さえ、空気を抜く



■ 手差しトレイにセットするときは

- 1 向きを確認し、封筒をセットする



手差しトレイの基本操作 ➡ P.8

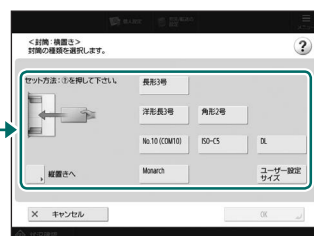
2

押す



3

封筒の置き
かたと種類
を選ぶ



4

[OK] を押す

定形外の封筒をセットする

定形外サイズの封筒をセットすることが
できます。

手差しトレイの用紙サイズと種類
を設定する ➡ ユーザーズガイド

OYAS-02F

Q 検索



検索番号の使いかた ➡ P.47

用紙のセット方法を知りたい

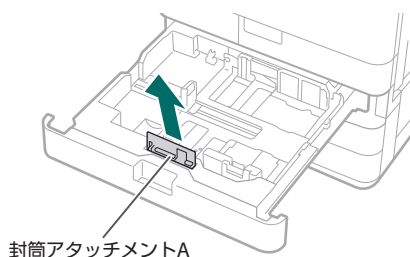
■ 給紙カセットにセットするときは

共通の操作は、給紙カセット2を例にして説明します。

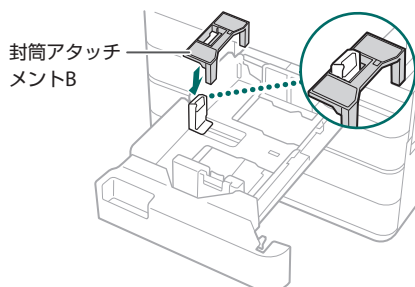
1 封筒アタッチメントを取り付ける

給紙カセット1の場合

- ① 給紙カセット2から封筒アタッチメントAを取り出す

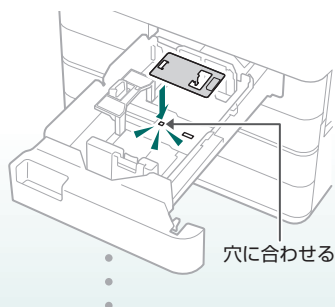


- ② カセット1を開き、左側の用紙ガイドに封筒アタッチメントBを取り付ける

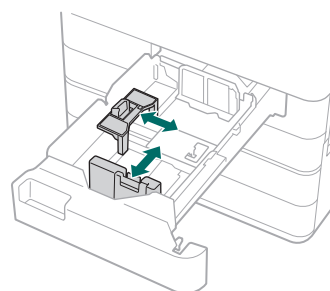


- ❗ ISO-C5をセットする場合は、封筒アタッチメントBを取り付けず、③へ進んでください。

- ③ 封筒アタッチメントAを取り付ける

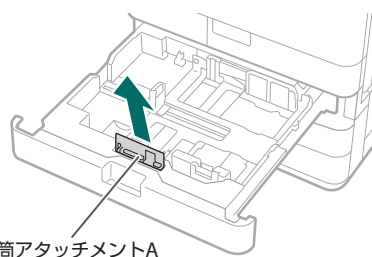


- ④ 用紙ガイドを合わせる

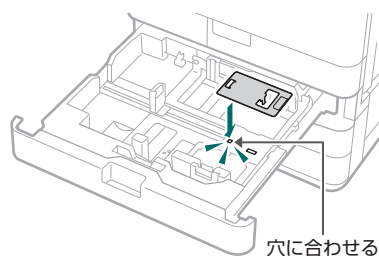


給紙カセット2の場合

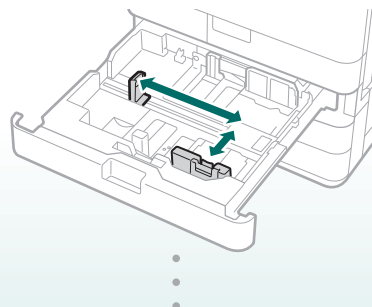
- ① 給紙カセット2から封筒アタッチメントAを取り出す



- ② 封筒アタッチメントAを取り付ける



- ③ 用紙ガイドを合わせる



使用できる用紙は、以下のページから確認することができます。

用紙について

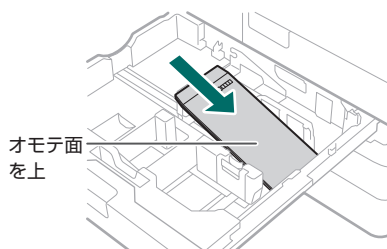
AVPP-TBM

検索



検索番号の使いかた P.47

2 封筒をセットする



3 カセットを本体に戻す

4

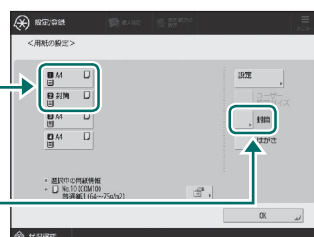


5 [環境設定] ▶ [用紙設定] ▶ [用紙の設定] を押す

6

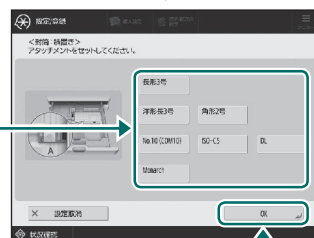
① 給紙部を選ぶ

② 押す



③ 封筒の種類を選ぶ

④ 押す



封筒をセットしたい

用紙のセット方法を知りたい

はがきをセットしたい

- ・給紙カセット、および手差しトレイにセットできます。
- ・インクジェット用の郵便はがきは使用できません。
- ・給紙カセットの場合はプリントする面を上にして、手差しトレイの場合はプリントする面を下にしてセットします。セットする向きは下の表をご覧ください。

	給紙カセット1 / 給紙カセット2 ※給紙カセット2を例にしています。		手差しトレイ	
	通信面	宛名面	通信面	宛名面
はがき				
往復はがき				
4面はがき				

はがきにコピーする場合
 ユーザーズガイド

使用できる用紙は、以下のページから確認することができます。

用紙について

AVPP-TBM

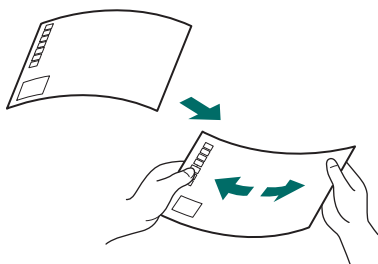
検索



検索番号の使いかた → P.47

はがきをセットしたい

1 はがきのカールを取り、セットする



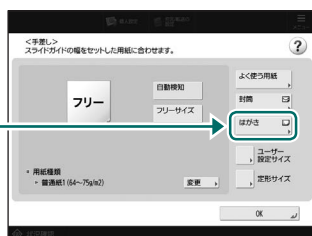
① 用紙セットの基本操作

給紙カセットの場合 → P.6

手差しトレイの場合 → P.8

2

押す



3

はがきの
種類を
選ぶ



② 印刷済みのはがきの裏面に印刷する
場合は、[両面2面目] を押します。

4

[OK] を押す

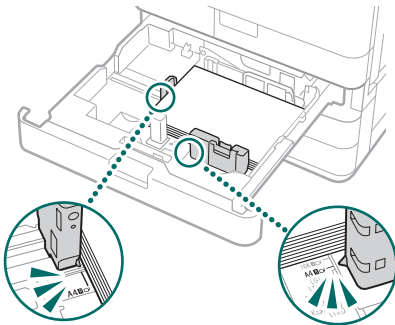
きれいに印刷できない



印刷画像がずれる／
斜めになる

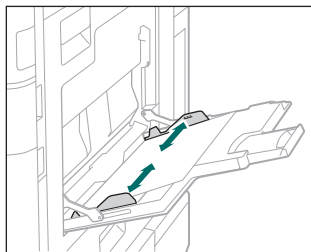
確認!

用紙ガイドがずれていませんか?



指標に合わせる

手差しトレイの場合



画像にムラがある／
かすれる

確認! ①

用紙が湿っていませんか?

湿っていない用紙と交換してください。

確認! ②

階調や濃度は適切ですか?

階調補正を行ってください。

① 押す



② [調整/メンテナンス] ▶ [画質調整] ▶
[自動階調補正] を押す

画面の指示に従って、自動階調補正を行っ
てください。

詳しく知りたいときは、ユーザズガイドを
ご覧ください。

階調を補正する ➡ ユーザズガイド

OYAS-0HU

検索




検索番号の使いかた ➡ P.47

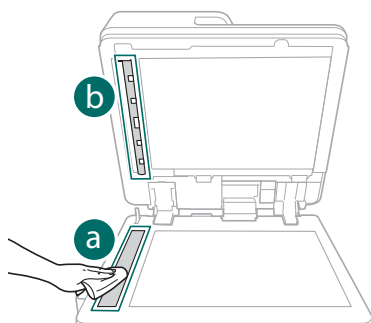


黒いすじがつく

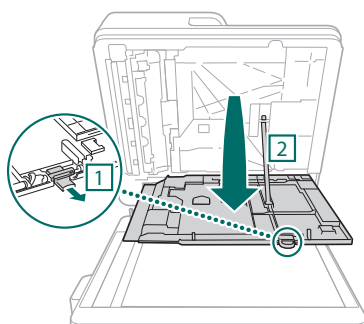
確認!

原稿読み取りエリアが汚れていませんか？

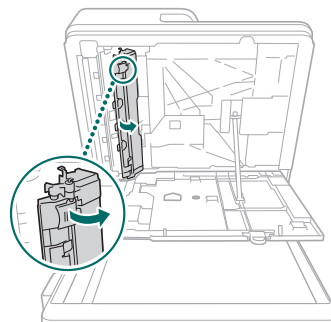
- ① 電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く
 - ② フィーダーを開き、付属のガラス清掃シートで下側の原稿読み取りエリア (a) とフィーダーの白いプレート部 (b) を拭く
-  汚れ防止コーティングが取れてしまうので、ガラスクリーナーやアルコール溶剤等を使わないでください。



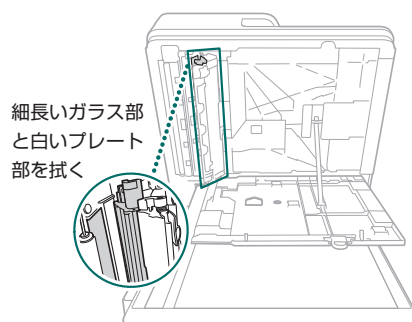
- ③ カバーを開く



- ④ 内カバーを開く




- ⑤ 原稿読み取りエリアとフィーダーの白いプレート部を拭く



- ⑥ 内カバーとカバーを閉じる

- ⑦ フィーダーを閉じる

- ⑧ 電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れる

-  汚れを拭いても黒いすじがつくときは、フィーダーのクリーニングを実行します。
詳しく知りたいときは
➡ ユーザーズガイド

きれいに印刷できない

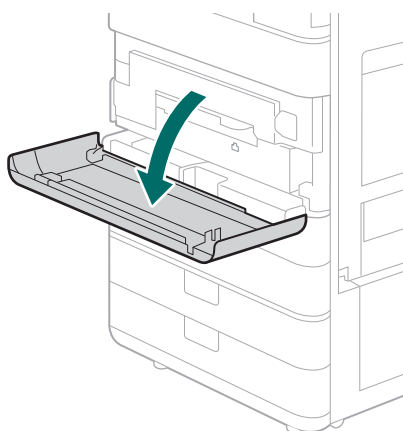


白いすじがつく／
すじ状に色が変わる

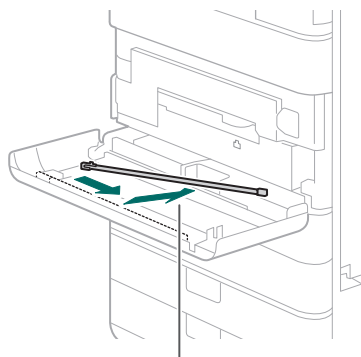
確認!

防塵ガラスを清掃してください

- ① 電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く
- ② 前カバーを開く

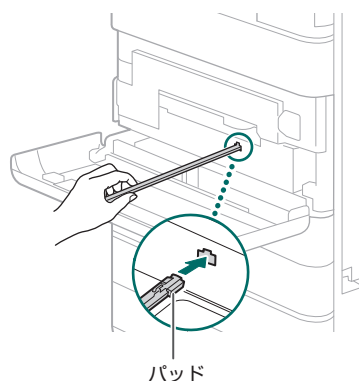


- ③ 清掃棒を取り出す



右側にスライドさせて取り出す

- ④ 先端のパッドを下に向けて、穴に差し込む



- ⑤ 穴の奥に突き当たるまで差し込み、前後に動かす
- ⑥ 清掃棒を戻して、前カバーを閉じる
- ⑦ 電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れる



裏写りする

確認! ①

コピーの設定は適切ですか?

原稿が裏写りしている場合は、原稿の種類を設定するときれいにコピーすることができます。

① ホームで[コピー (裏写り防止)]を押す



② [はい] を押す

確認! ②

背景の濃度は適切ですか?

原稿が裏写りしている場合は、背景濃度を薄く設定するときれいに印刷することができます。

① 押す



② ファンクションを選ぶ

③ [その他の機能] を押す

例) ファクス



④ 押す



⑤ 押す



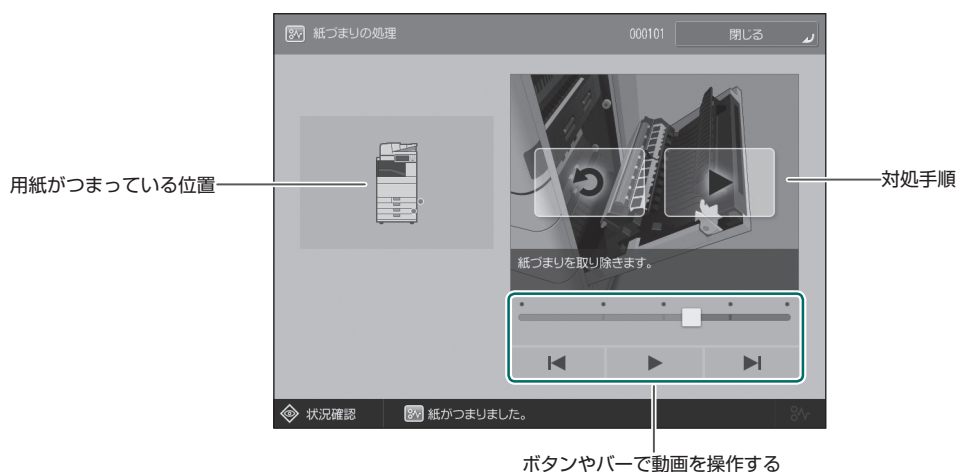
手動で調整するときは、[調整]を押して[-][+]で背景濃度を調整 ▶ [OK]を押します。

⑥ [OK] を押す

用紙がつまる

用紙がつまった

紙づまりが起きると、タッチパネルディスプレイに次のような画面が表示されます。
画面の指示に従って、つまった紙を取り除いてください。



💡 つまった用紙をすべて取り除き、本体のカバーやカセットがすべて正しく閉じられたら、この画面は消えます。

画面を見ても対処方法がわからないときは
ユーザーズガイドで対処方法を確認してください。

紙がつまったら ➡ ユーザーズガイド

OYAS-OJF

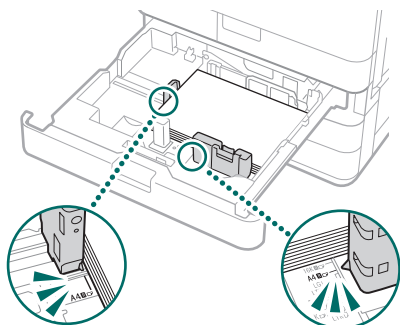
🔍 検索

📖 検索番号の使いかた ➡ P.47

ひんぱんに用紙がつまる

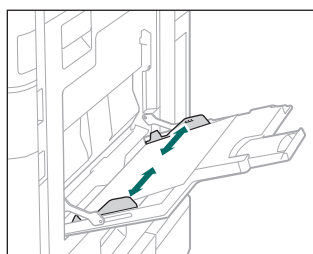
確認! ①

用紙ガイドがずれていませんか？



指標に合わせる

手差しトレイの場合



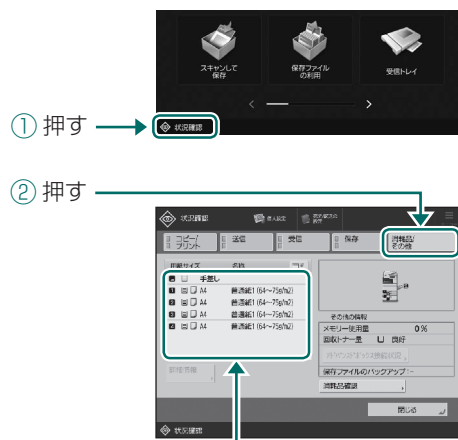
確認! ②

用紙が重なって送られていませんか？

用紙が重なった状態で送られて紙づまりが起きる場合は、用紙の向きを変えてセットしなおしてください。

確認! ③

用紙種類は正しいですか？



③ セットされた用紙と異なる場合は、用紙種類を変更する

給紙力セットの場合 ➡ P.6

手差しトレイの場合 ➡ P.8

オプションの場合 ➡ ユーザーズガイド

確認! ④

紙片が残っていませんか？

つまった用紙を取り除いたときに、本体内に紙片が残った可能性があります。もう一度、用紙がつまっていた箇所を開き、紙片があれば取り除いてください（用紙を取り除くときは無理に引っ張らないでください）。

用紙が給紙されない



給紙部を開き、以下を確認してください。

-

- 検索番号の使いかた ➡ P.47

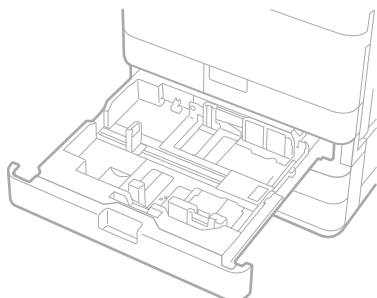
オプションの場合 ➡ ユーザーズガイド



「用紙がありません。」や「用紙なし」と表示される

確認! ①

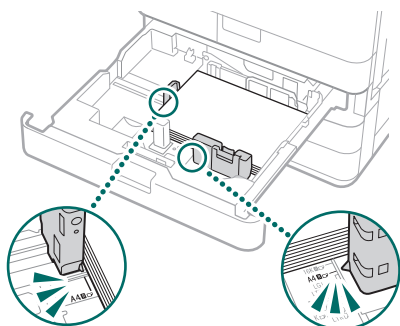
用紙がなくなっていないですか？



用紙が入っていない場合は補充する

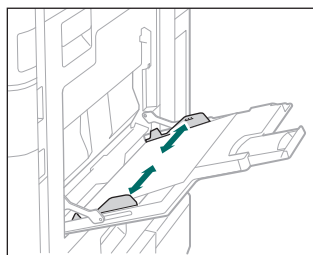
確認! ②

用紙ガイドがずれていませんか？



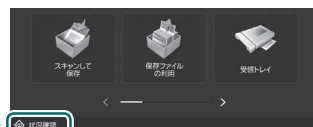
指標に合わせる

手差しトレイの場合



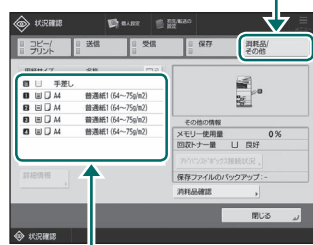
確認! ③

用紙種類は正しいですか？



① 押す

② 押す



③ セットされた用紙と異なる場合は、用紙種類を変更する

給紙力セットの場合 ➡ P.6

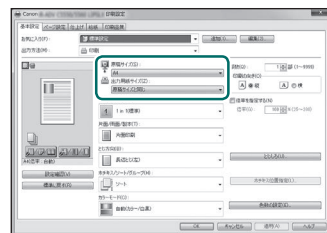
手差しトレイの場合 ➡ P.8

オプションの場合 ➡ ユーザーズガイド

確認! ④

原稿サイズと出力用紙サイズは正しいですか？

① プリンタードライバーの[印刷設定]画面で原稿サイズと出力用紙サイズを確認する



② 原稿サイズと同じサイズの用紙をセットする



原稿サイズと異なる用紙に印刷するときは、[出力用紙サイズ]を手動で印刷する用紙サイズに設定してください。

用紙のセットや設定がうまくいかない

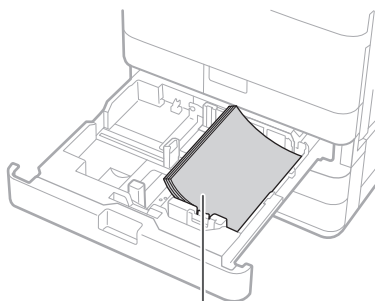


意図した面に印刷されない

確認!

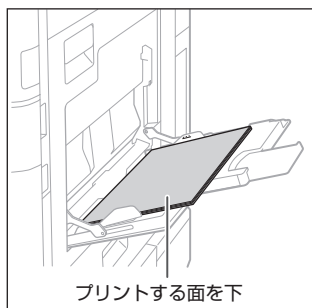
用紙が逆向きになっていませんか？

- ① 用紙の向きや表裏を確認する



プリントする面を上

手差しトレイの場合



プリントする面を下



オプションの場合

➡ ユーザーズガイド

- ② 逆になっていればセットしなおす



思った通りのサイズで印刷されない

確認!

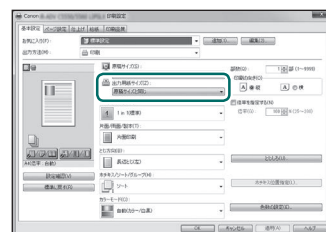
原稿サイズとセットされている用紙のサイズが違っていませんか？

- ① 印刷したいサイズの紙と交換する



セット中の用紙に印刷するときは、手順①は行わないでください。

- ② プリンタードライバーの「出力用紙サイズ」を、印刷する用紙サイズに変更する



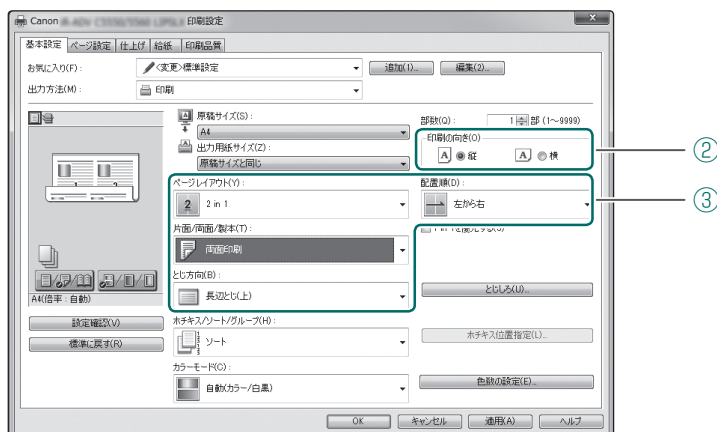


両面印刷で裏表の向きが合わない

確認!

両面印刷の設定は正しいですか？

- ① アプリケーションの印刷設定画面で、原稿の向きを選ぶ
 - ② ドライバーの[印刷設定] 画面で、①と同じ向きに[印刷の向き]を設定する
 - ③ プリントイメージを見ながら、[ページレイアウト] ▶ [配置順] ▶ [片面/両面/製本] ▶ [とじ方向]の順に設定する
- 💡 [配置順]は[ページレイアウト]を[2in1]以上に設定したとき表示されます。



		印刷の向き	
		縦	横
とじ方向	短辺とじ		
	長辺とじ		

スキャン／ファクスがうまくいかない

「スキャンして送信」でサーバーに原稿を送れない

確認!

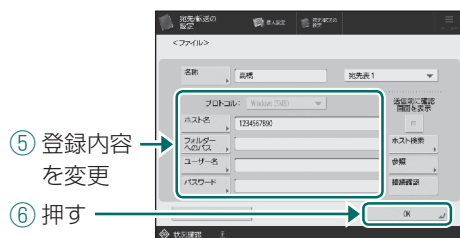
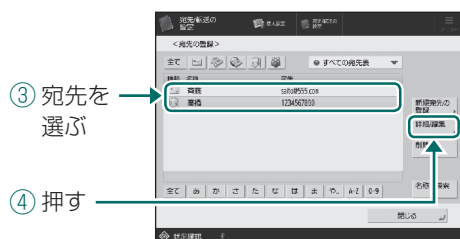
パスワードなどサーバーの情報は正しいですか?

サーバー（パソコン）のログインパスワードなどを変更した場合は、アドレス帳やワンタッチボタンの登録内容も変更してください。



② [宛先/転送の設定] ▶ [宛先の登録] を押す

例) アドレス帳



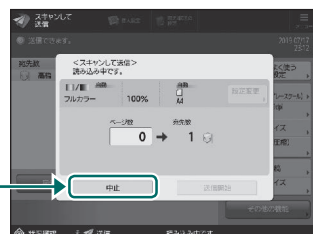
⑦ 変更後に接続を確認するときは、[接続確認] を押します。

⑧ 詳しく知りたいときは

➡ P.27 「登録内容を変更するときは」

スキャン／ファクスを中止したい

■ 原稿の読み込みを中止する場合



② [[はい] を押す

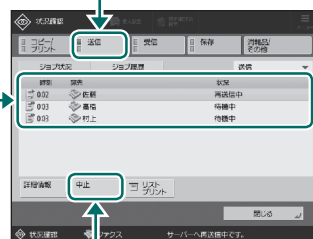
③ ストップ を押しても中止できます。

■ 原稿を読み込んだ後にデータの送信を中止する場合



② 押す

③ 中止する文書を選ぶ



④ 押す

⑤ [[はい] を押す

⑥ [ファクス] または [スキャンして送信] 画面で [ストップ] を押すと、送信/ファクスのジョブがある場合に直接ジョブを中止するポップアップ画面が表示されます。

・ホームで [ストップ] を押すと実行中の送信ジョブとプリントジョブを一時停止して[送信ジョブ一覧]と[プリントジョブ一覧]を表示します。

スキャン文書を メール送信できない

確認! ①

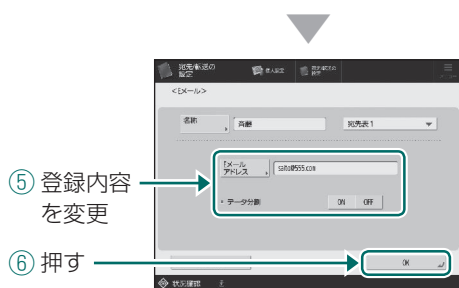
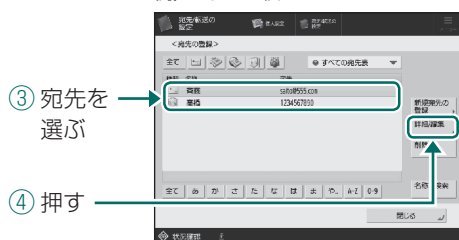
宛先の情報は正しいですか？

アドレス帳やワンタッチボタンの登録内容を変更してください。



② [宛先/転送の設定] ▶ [宛先の登録] を押す

例) アドレス帳



⑦ 詳しく知りたいときは

➡ 右記「登録内容を変更するときは」

確認! ②

SMTPサーバー、DNSサーバーの設定は正しいですか？

すべてのメール送信ができない場合は、SMTPサーバー、DNSサーバーを正しく設定してください。設定の方法は、ユーザーズガイドをご覧ください。

SMTP送信/POP受信のポート番号を設定するときは

- ① を押す
- ② [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [Eメール/ファクス設定] ▶ [SMTP送信/POP受信のポート番号指定] を押す
- ③ ポート番号を指定する
- ④ [OK] を押す

Eメール/ファクスの通信設定をする ➡ ユーザーズガイド

OYAS-017

検索

DNSの設定をする ➡ ユーザーズガイド

OYAS-00X

検索

検索番号の使いかた ➡ P.47

登録内容を変更するときは

アドレス帳やワンタッチボタンに登録済みの情報が誤っているときは、登録情報を編集し登録しなおしてください。

アドレス帳に登録した宛先を編集する ➡ ユーザーズガイド

OYAS-038

検索

ワンタッチボタンに登録した宛先を編集する ➡ ユーザーズガイド

OYAS-03A

検索

検索番号の使いかた ➡ P.47

スキャン／ファクスがうまくいかない

ファクスが送信・転送できない

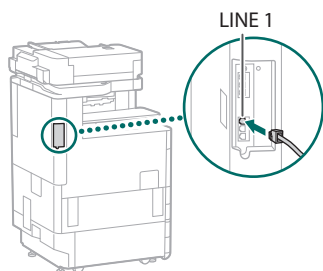
■ すべてのファクス送信ができない場合

電話回線が誤った場所に接続されていないか確認してください。

① 本機から宛先のファクスに電話をかける

電話回線の「ツー音（発信音）」が聞こえないときは

モジュラーケーブル（ファクス用の電話線）の抜け、または差し込み位置を間違えています。モジュラーケーブルを確認し、正しい位置に差し込んでください。



音声ガイダンスが流れてくる場合、または宛先のファクスにつながらない（「ピーヒャラ音」が聞こえない）ときは

宛先、または回線業者で何らかの問題が起きている可能性があります。宛先に連絡してください。

■ 転送できない場合

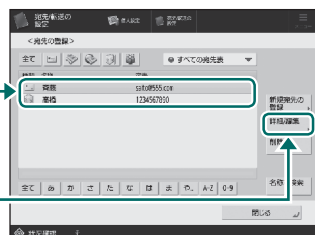
転送先のアドレス帳やワンタッチボタンの登録内容を確認し、誤っていたら変更してください。

① 押す

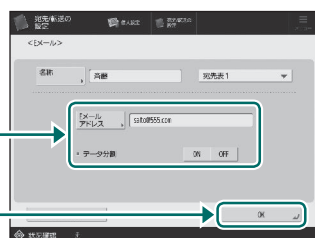


② [宛先/転送の設定] ▶ [宛先の登録] を押す

例) アドレス帳



④ 押す



⑤ 登録内容を変更

⑥ 押す



詳しく知りたいときは

➡ P.27 「登録内容を変更するときは」

■ 光回線やIP電話回線をお使いの場合

回線品質によって通信エラーが起きることがあります。詳しくは、回線事業者へお問い合わせください。

送信速度を遅くしてみる

送信速度を遅くすると、通信エラーを軽減できる場合があります。

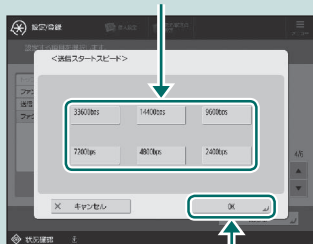


① 押す

② [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [ファクス設定] ▶ を押す

③ [送信スタートスピード] を押す

④ 現在より遅いスピードを選ぶ



⑤ 押す

💡 アドレス帳やワンタッチボタンの詳細設定からも、宛先ごとに送信速度を設定することができます。

詳しく知りたいときは

➡ ユーザーズガイド

ファクスが受信できない

確認! ①

メモリーの空き容量は十分ですか？

メモリー内の不要な文書を削除してください。

① 押す



② [受信トレイ] ▶ [システムボックス] ▶ [メモリー受信ボックス] を押す

③ 不要な文書を選ぶ



④ 押す

⑤ [[はい]] を押す

確認! ②

「#」で始まる番号を確認して対処方法を調べてください

ファクスの送受信に失敗すると、タッチパネルディスプレイや通信管理レポートに「#」で始まる番号（エラーコード）が表示されます。エラーコードに応じて、必要な対処方法を調べることができます。

エラーコードごとの対処方法

➡ ユーザーズガイド

OYAS-0K2

🔍 検索

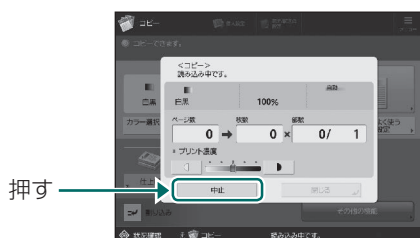


検索番号の使いかた ➡ P.47

コピー／プリントを中止したい

コピーを中止したい

■ 原稿の読み込みを中止する場合

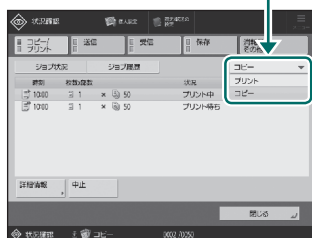


💡 **ストップ** を押しても中止できます。

■ 出力待ちのコピーを中止する場合



② ドロップダウンリストから[コピー]を選ぶ



③ 中止する
コピーを
選ぶ

④ 押す



⑤ [はい] を押す

プリントを中止したい

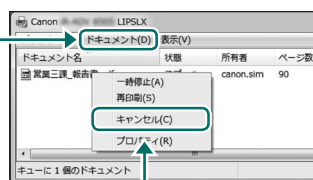
■ Windowsの場合

① パソコンの画面でプリンターアイコンをダブルクリックする



② 中止するファイルを選ぶ

③ クリック



④ [キャンセル] を選ぶ

⑤ [はい] をクリック

■ Macの場合

① パソコンの画面でDock上のプリンターアイコンをクリックする



② 中止するファイルを選ぶ

③ [削除] をクリック

プリンタードライバーのインストール方法がわからない

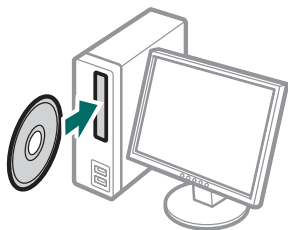
プリンタードライバーをインストールする

インストールについて詳しく知りたいときは

ドライバーインストールガイドをご覧ください。キヤノンホームページ (<https://global.canon/>) から、閲覧やダウンロードをすることができます。

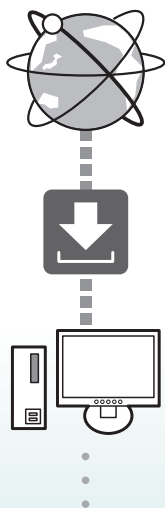
■ User Software CD-ROM/DVD-ROMを使う場合

本機に付属のUser Software CD-ROM/DVD-ROMを使って、お使いのパソコンにプリンタードライバーを簡単にインストールできます。



■ キヤノンホームページからダウンロードする場合

キヤノンホームページ (<https://global.canon/>) から、最新のプリンタードライバーをダウンロードできます。



最新のOSの対応状況について

キヤノンホームページ (<https://global.canon/>) でご確認ください。

■ 本機のプリンタードライバーがすでにインストールされている場合

お使いの環境によっては、古いドライバーをアンインストールしてから新しいドライバーをインストールする必要があります。アンインストールの方法は、ドライバーインストールガイドをご覧ください。

消耗品を交換したい

動画を見ながら交換する

消耗品の交換時期になると、タッチパネルディスプレイに交換を促す画面が表示されます。画面に従って消耗品を交換してください。

1

例) トナー容器



押す

💡 消耗品の状態により、直接手順2の画面が表示される場合もあります。

2

消耗品を用意する



* キヤノン純正品の型番です。最適な印刷品位のため、純正品のご使用をおすすめします。

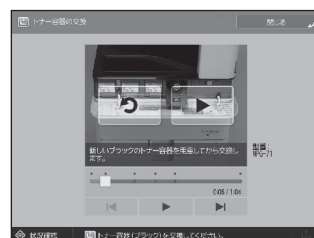
💡 消耗品一覧 ➡ P.33

通常の画面で消耗品の型番を確認
するときは

- ① [状況確認] を押す
- ② [消耗品/その他] ▶ [消耗品確認]
を確認する

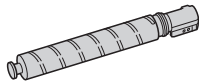

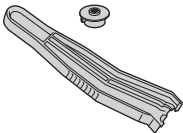

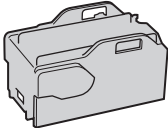

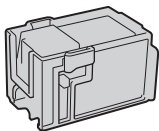
3

画面を参考に、消耗品を交換する



💡 消耗品により、メッセージや画面の出かたは異なる場合があります。

消耗品一覧

種類	型番	交換方法 動画を見ても交換方法が わからないときにご覧ください。
トナー容器 	キヤノン純正トナー容器です。 ・Canon NPG-71 Toner Black (キヤノン NPG-71 トナー ブラック)	トナー容器を交換する ➔ ユーザーズガイド 0YAS-0H7 Q 検索  検索番号の使いかた ➔ P.47
スタンプカートリッジ 	スタンプピンクカートリッジ・C1	スタンプカートリッジを 交換する ➔ ユーザーズガイド 0YAS-0H9 Q 検索  検索番号の使いかた ➔ P.47
ホチキスの針 	ステイブル・P1 以下のオプションで使用できます。 ・ステイブルフィニッシャー・Y ・中綴じフィニッシャー・Y ・インナーフィニッシャー・H	ホチキス針を補給する（オプション） ➔ ユーザーズガイド 0YAS-0HA Q 検索  検索番号の使いかた ➔ P.47
	ステイブル・Y1 以下のオプションで使用できます。 中綴じフィニッシャー・Y	



- ・トナー容器を立てて保管しないでください。
- ・トナー容器は直射日光の当たらない涼しい場所に保管してください。望ましい環境は、温度30℃以下、湿度80%以下です。

トナーの偽造品に関するご注意

キヤノン製トナーの「偽造品」が流通していることが確認されています。「偽造品」を使用されますと、印字品位の低下など、機械本体の本来の性能が十分に発揮されない場合があります。「偽造品」に起因する故障や事故につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

詳しくは下記ホームページをご覧ください。

global.canon/ctc

キヤノン純正の消耗品について

最適な印刷品位のため、交換用トナー、カートリッジ及びパーツは、キヤノン純正品のご使用をおすすめします。



エラー画面が表示される

エラーメッセージが表示される

読み込みやプリント中に何らかのエラーが生じたり、ネットワークの接続や設定に問題が起きたりすると、タッチパネルディスプレイやリモートUIにメッセージが表示されます。

タッチパネルディスプレイ



リモートUI



メッセージの意味と対処方法は、ユーザーズガイドをご覧ください。

メッセージごとの対処方法 ➡ ユーザーズガイド

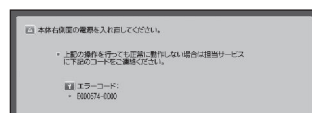
CMEM-TBM

検索

検索番号の使いかた ➡ P.47

「担当サービスに連絡…」と表示される

何らかのトラブルによって本機が正常に動作しなくなったときは、担当サービスに連絡するようメッセージが表示されます。以下の対応を行ってください。



1 本機を再起動する

電源スイッチを押して電源を切り、主電源ランプが消えて10秒以上たってから、再度電源を入れます。

❗ 電源を切ると、待機中のデータは消去されますのでご注意ください。

2 メッセージが消えない場合は、以下の手順で担当サービスに連絡する

① 画面に表示されたコードを控える

💡 コードは複数表示される場合があります。

② 本機の電源を切り、電源プラグを抜く

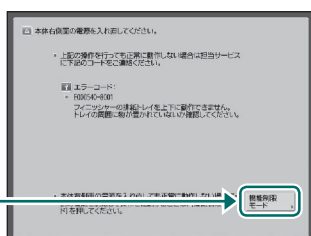
③ 担当サービスに連絡する

❗ お問い合わせするときは、あらかじめ次の情報をご用意ください。

- ・ 製品名
- ・ 購入先販売店
- ・ トラブル内容（操作内容と結果、現象など）
- ・ 画面に表示されたコード

■「機能制限モード」ボタンが表示されたときは

トラブル解決前でも、機能を制限して本機を使うことができます。



① 押す

② [はい] を押し、本機を再起動すると、機能制限モードになります。

トラブルが解決すると、画面左下のメッセージ「担当サービスに連絡」は消えます。

担当サービスに連絡するよう表示される ➡ ユーザーズガイド

OYAS-OKO

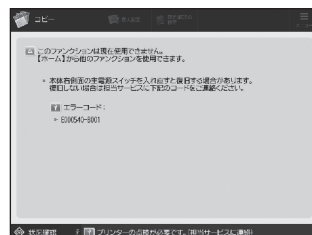
🔍 検索



検索番号の使いかた ➡ P.47



機能制限モード中に制限されている機能を選択すると、下の画面が表示されます。



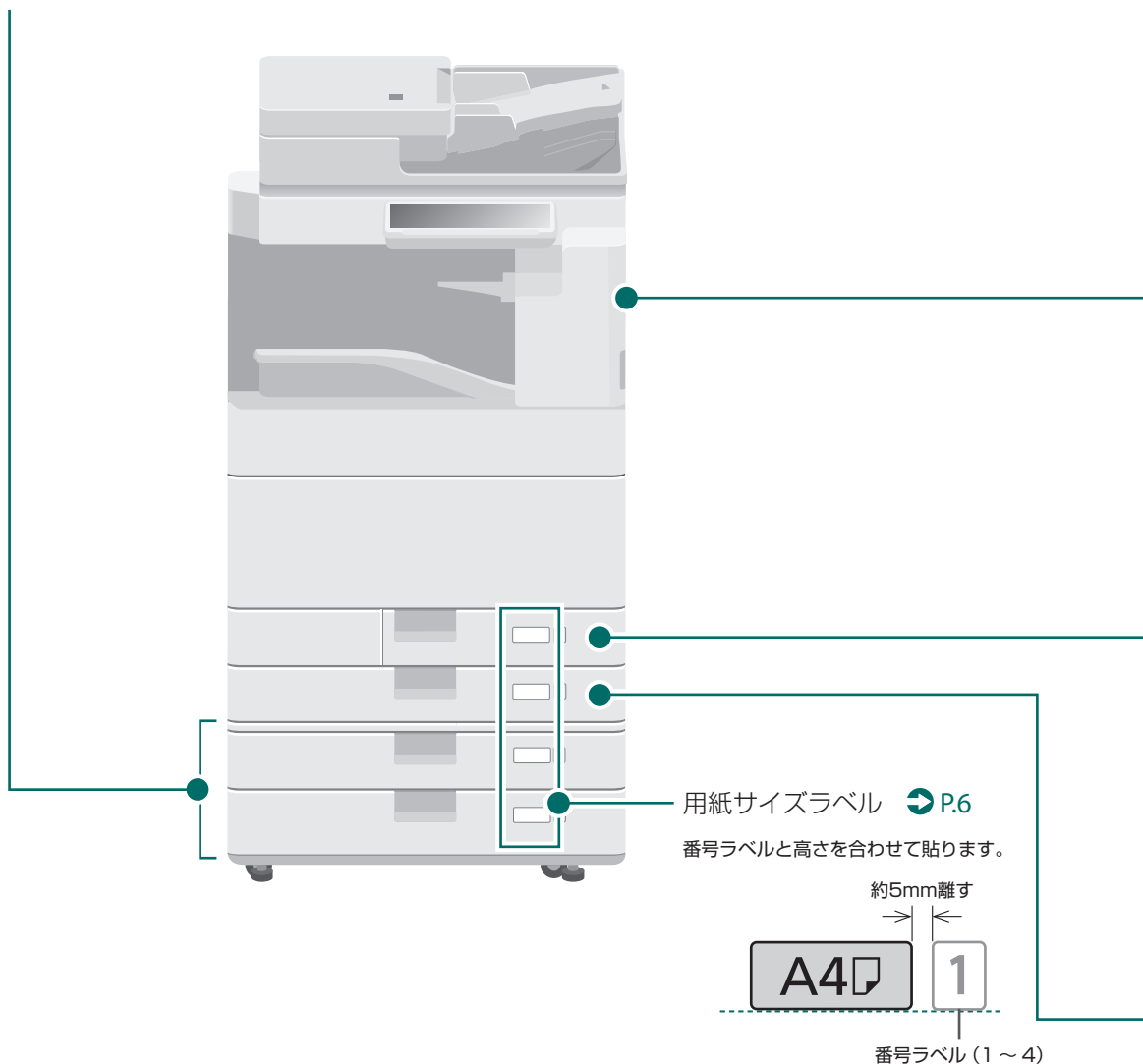
🏠 ホーム を押してホームに戻り、他の機能を選択してください。

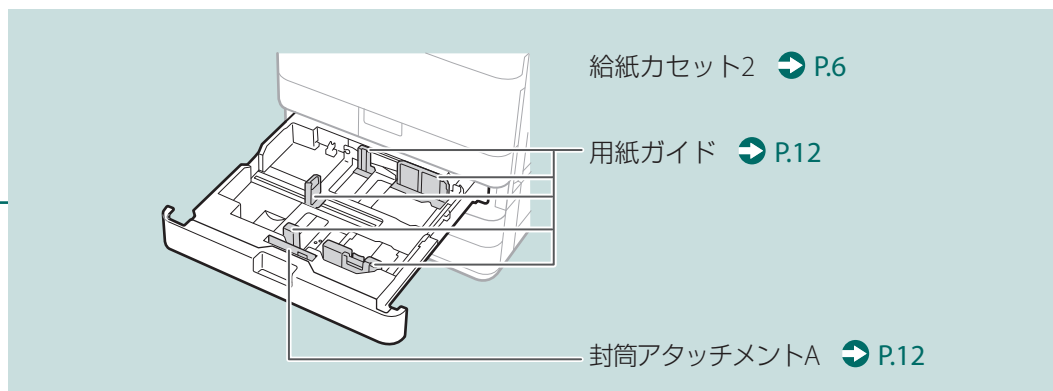
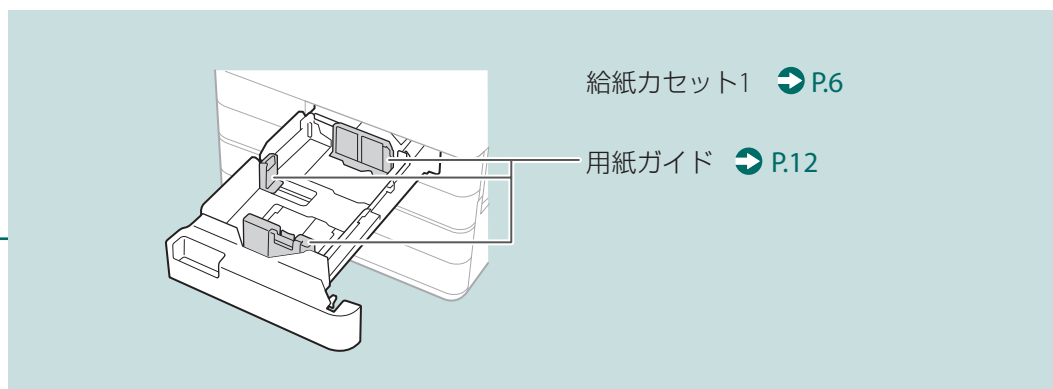
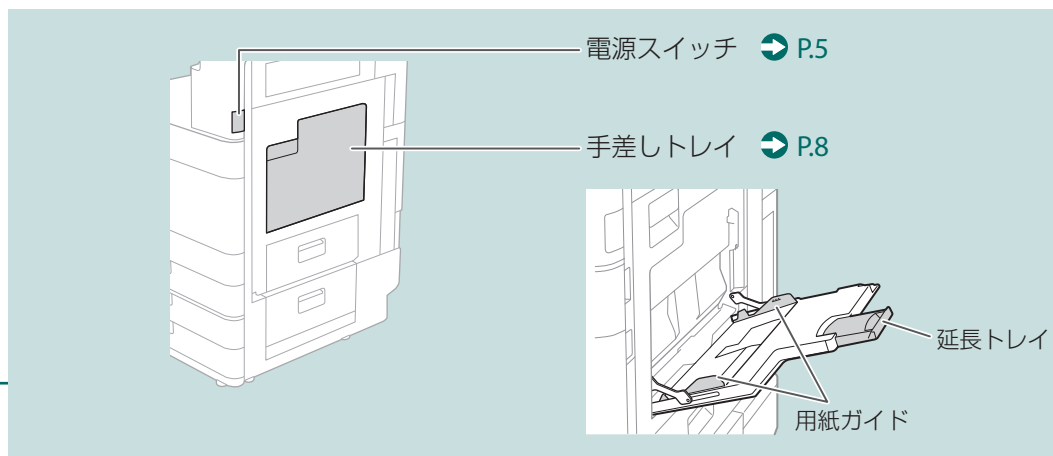
イラストさくいん

本体の各部から名称と関連ページを探ることができます。
※ 2段カセットペディスタル・AM装着時を例にしています。

本体

2段カセットペディスタル・AM



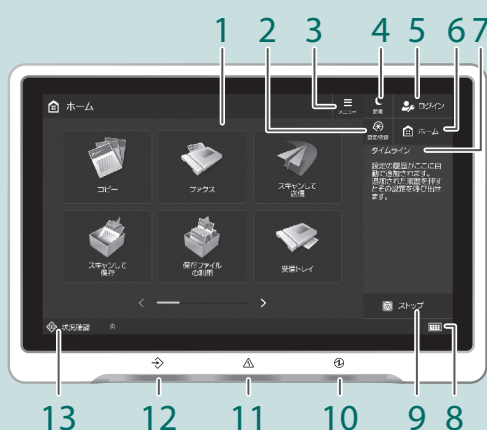


イラストさくいん

操作パネル



■ホーム画面



■テンキーが表示される画面



- 1 タッチパネルディスプレイ ➡ P.4
設定画面やメッセージを表示します。画面を押して操作します。
- 2 [設定/登録] ➡ P.7
各種の登録や機能の設定をするときに押します。
- 3 [メニュー]
ボタンの並べ替えやショートカット作成など、画面をカスタマイズすることができます。

- 4 [節電] ➡ P.4
スリープモード（節電状態）を起動するときに押します。
- 5 [ログイン] / [ログアウト]
ログイン/ログアウト時に押します（ログインサービスを設定している場合）。ログイン時には現在ログインしているユーザー名が表示されます。

- 6 [ホーム] ➡ P.19
ホーム画面を表示します。
- 7 [タイムライン]
コピー／スキャンして送信で設定した履歴を表示します。
- 8 [カウンター/機器情報]
タッチパネルディスプレイにコピーやプリントの総枚数を表示します。
- 9 [ストップ] ➡ P.26
動作を止めるときに押します。
- 10 ①主電源ランプ ➡ P.4
・電源入：点灯
- 11 ⚠エラーランプ
トラブル発生中：点滅または点灯
※ エラーランプが赤色に点灯し続ける場合は担当サービスへ連絡してください。
- 12 ⇄実行/メモリーランプ
・動作中：点滅
・待機中：点灯
- 13 [状況確認] ➡ P.21
ジョブの状況を確認するときやジョブを中止するときを押します。
- 14 テンキー
数字を入力するときを押します。
- 15 [リセット]
変更内容をリセットするときを押します。
- 16 [スタート]
動作(読み込み)を開始するときを押します。
- 17 [クリアー]
入力した文字を取り消すときを押します。

安全にお使いいただくために

お使いになる人やほかの人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載しています。本機をお使いになる前によくお読みいただき、正しくお使いください。また、このマニュアルに記載されていないことは行わないでください。マニュアルの記載に従わない使用が、不適切な使用がた、弊社および弊社指定以外の第三者による修理/変更などによって生じた障害の責任は負いかねますのでご了承ください。

▲ 警告

取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

▲ 注意

取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

ご注意

操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。誤った操作によるトラブルや故障、物理的損害を防ぐために、必ずお読みください。

■ 化学安全情報について

製品の安全データシート (SDS) は <https://canon.jp/ecology/> に提供しております。

■ 設置について

本機を安全かつ快適にお使いいただくために、次の注意事項をよくお読みいただき、適切な場所に設置してください。

▲ 警告

火災や感電の原因となる場所には設置しない

- 通気口をふさぐ恐れのある場所 (壁の近く、ベッド、ソファ、毛足の長いじゅうたんの上など)
- 湿気やホコリの多い場所
- 屋外や直射日光の当たる場所
- 高温になる場所
- 火気のある場所
- アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近く

その他の警告

- 本機の接続部には、定められたもの以外は接続しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- アクセサリーなどの金属や、液体の入った容器を本機の上に置かないでください。異物が内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になることがあります。
- 万一、本機の内部に異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜き、お買い求めの販売店、またはキャノンお客様相談センターもしくは担当サービスにご連絡ください。

▲ 注意

次のような場所には設置しない

落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。

- 不安定な場所
- 振動のある場所

ストッパーについて (付属製品のみの)

設置したあとは、本製品固定用のストッパーは外さないでください。本製品が動いたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。

ご注意

次のような場所には設置しない

故障の原因になることがあります。

- 低温、低湿または高温、高湿の場所
- 急激な温度変化や湿度変化がある場所
- 磁気や電磁波を発生する機器に近い場所
- 実験室など、化学反応が生ずる場所
- 空気中に、腐食性または毒性のガスを含んでいるような場所
- 本機のリモコンによってゆがみや沈みが起きる可能性のある場所 (じゅうたん/畳の上など)

風通しの悪い場所には設置しない

本機の使用中は、オゾンなどが発生しますが、その量は人体に影響を及ぼさない程度です。ただし、換気の悪い場所で長時間使用する場合や、大量に印刷する場合などは、快適な作業環境を保つため、部屋の換気をするようにしてください。また、本機からの排気が人体に直接当たる場所には設置しないでください。

結露の発生する場所には設置しない

部屋を急に暖めたり、温度や湿度が低い場所から高い場所へ本機を移動させたりすると、本体内部に水滴 (結露) が発生することがあります。そのまま使用すると紙づまり、印字不良、故障などの原因になることがありますので、2時間以上放置して周囲の温度や湿度に慣らしてからご使用ください。

コンピューターなどの電子機器や精密機械の近くには設置しない

電氣的な原因や動作時の振動により、電子機器、精密機器などに悪影響を与えることがあります。

テレビ、ラジオなどの電子機器の近くには設置しない

テレビやラジオ、オーディオ機器に、画面のチラつきや雑音の発生などの受信障害が生じることがあります。本機とは別系統の電源を使用し、離して設置してください。

耐熱性の低いシートなどの上には設置しない

本機にはカセットヒーターが内蔵されています。オプションを装着せずに本機を机の上などに設置する場合、底面が熱くなるので、耐熱性の低いビニール製デスクマットなどへの設置はなるべく避けてください。

人感センサーについて

次のような環境では、本機の人感センサーの動作が不安定になる可能性があります。

- 人感センサー付近に物が置かれている
- 本機が人や物が多く行き交う場所に設置されている
- 本機以外のセンサー搭載機器 (センサーライトなど) が近くで使われている

● 超音波が発生している

人感センサーの動作に問題があると感じた場合は、設定/登録⇒>環境設定>⇒>タイマー / 電力設定>⇒>人感センサーを使用>の中<<センサーの感度>>で感度を変更してください。

海拔3000m以上の高地の場合

ハードディスクを搭載している製品は、高地 (海拔3000m以上) で使用すると、正常に動作できない場合があります。

電話回線について (FAX機能搭載製品のみの)

電話回線の抵抗値と本機の抵抗値の合計が1700Ωを超える場合など、電話回線や地域などの条件によって通信できないことがあります。このようなときには、お買い求めの販売店、担当サービスまたはキャノンお客様相談センターにご連絡ください。本機はNTTのアナログ回線に準拠しており、一般の加入電話回線のみ接続できます。ビジネスホンなどを接続している専用回線に接続すると故障の原因となる場合があります。必ず回線を確認してから接続してください。

無線LANを利用するとき (無線LAN機能搭載製品のみの)

- 無線LANルーターとの距離が50m以内の場所に設置してください。
- できるだけ遮蔽物のない場所に設置してください。壁越しやフロア間の通信は、接続しにくくなります。
- デジタルコードレス電話機や電子レンジなどの電波を発生する機器からできるだけ離して設置してください。
- 医療用機器の近くで使用しないでください。本機からの電波が医療用機器に影響を及ぼし、誤動作による事故の原因になることがあります。

稼働音が気になる場合

お客様の使用環境や動作モードにより、稼働音が気になる場合は、事務所とは別の場所に設置することをおすすめします。

移動の際はご連絡を

本機の移動は、お客様ご自身で行わず、必ず担当サービスにご連絡ください。

■ 電源について

▲ 警告

- 仕様の電源電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 付属の電源コードを用いて本機を確実にアース端子付きコンセントに接続してください。
- 付属の電源コード以外には使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 付属の電源コードは本機専用です。他の機器に使用しないでください。
- 電源コードを傷つける、加工する、引っ張る、無理に曲げる、などの行為はしないでください。また、電源コードに重いものをのせしないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になることがあります。
- タコ足配線をしたり、延長コードを使用したりしないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 電源コードを束ねたり、結んだりしないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 電源プラグはコンセントの奥までしっかりと差し込んでください。電源プラグがしっかりと差し込まれていないと、火災や感電の原因になることがあります。
- 雷が発生したときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災、感電、故障の原因になることがあります。
- 本機への電源供給が安全であること、安定電圧であることを確認してください。
- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因になることがあります。

次のような取り扱いは避けてください。

- 電源コネクタが接続される本機の差込口にストレスが強くかかると、本機の内部で断線や接触不良が発生し、故障や火災の原因になることがあります。
- 電源コネクタを頻繁に抜き差しする
- 電源コードに足を引っ掛ける
- 電源コードが電源コネクタ付近で曲げられ、本機の差込口に継続的なストレスがかかっている
- 電源コネクタに強い衝撃を加える

アース線を接続してください

- コンセントのアース端子に、アース線を接続してください。アース線を接続していないと、万一漏電した場合に感電の恐れがあります。コンセントにアース端子がない場合は、接地工事 (D種) が行われているアース端子に接続してください。
- アース線を接続する場合は、必ず電源プラグをコンセントに接続する前に行ってください。また、アース線を取り外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

次の場所にはアース線を絶対に接続しない

- 水道管: 配管の一部がプラスチックの場合、アースの役目を果たしません。ただし、水道局がアース対象物として許可した水道管には接続できます。
- ガス管: ガス爆発や火災の原因になることがあります。
- 電話線のアースや避雷針: 落雷のときに大きな電流が流れ、火災や感電の原因になることがあります。

▲ 注意

非常時にすぐ電源プラグが抜けるように、本機をコンセントの近くに設置し、電源プラグの周囲に物を置かないでください。

ご注意

電源を接続するとき

- 電源コードを無停電電源に接続しないでください。

停電発生時に誤動作や故障の原因になることがあります。

- 複数の接続口を持つコンセントに本機を接続した場合、残りの接続口にはほかの機器を接続しないでください。
- パソコン本体の補助コンセントに本機の電源コードを接続しないでください。
- 屋内漏電ブレーカーを介して配線されているコンセントの使用を推奨します。

その他の注意事項

- 電氣的なノイズは、本機の誤動作、あるいはデータ消失の原因になることがあります。
- お使いの電源についてご不明な点は、電力会社またはお近くの電気店などにご相談ください。

■ 取り扱いについて

▲ 警告

- 異音・異臭がする、発熱・発煙している、部品が破損しているなどの場合は、直ちに電源プラグをコンセントから抜き、お買い求めの販売店、またはキヤノンお客様相談センターもしくは担当サービスにご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電、けがの原因になることがあります。
- 本機を分解、改造しないでください。内部には高圧・高温の部分があり、火災や感電の原因になることがあります。
- 電源コード、ケーブル類、製品内部のギア、電気部品などに子供の手が届かないよう注意してください。思わぬ事故の原因になることがあります。
- 本機の近くで可燃性スプレーなどを使用しないでください。ガスなどの異物が本機内部の電気部品などに付着すると、火災や感電の原因になることがあります。
- 本機を移動させる場合は、必ず本機の電源を切ってから、電源プラグを抜き、インターフェイスケーブルを取り外してください。そのまま移動すると、電源コードやインターフェイスケーブルが傷つき、火災や感電の原因になることがあります。
- 電源プラグをコンセントに接続している状態でUSBケーブルを抜き差しすると、コネクタの金属部分に触れないでください。感電の原因になることがあります。

心臓ペースメーカーをご使用の方へ

本機から微弱な磁気や超音波が出ています。心臓ペースメーカーをご使用の方は、異常を感じたら本機から離れ、医師にご相談ください。

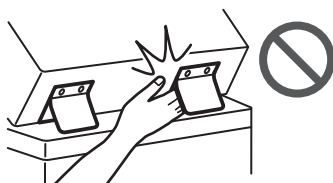
▲ 注意

- 本機の上に重いものを置かないでください。置いたものが倒れたり、落ちたりしてけがの原因になることがあります。
- 長時間ご使用にならない場合は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 開閉部を操作するときは、手を挟まないようにしてください。けがの原因になることがあります。
- 排紙部のローラーに触らないでください。巻き込まれて、けがの原因になることがあります。
- 使用直後は、内部や排紙口が高温になります。また、連続印刷すると用紙が熱くなることがありますので、取り扱いには注意してください。やけどの原因になることがあります。

フィーダーまたは原稿台カバーについて

- 原稿台ガラスに厚い本などをセットしてコピーするときは、フィーダーや原稿台ガラスカバーを強く押さないでください。原稿台ガラスが破損してけがの原因になることがあります。
- フィーダーや原稿台ガラスカバーは、手を挟まないように静かに閉じてください。けがの原因になることがあります。

- フィーダーや原稿台ガラスカバーの奥に手や指を差し入れしないでください。挟んでけがをする恐れがあります。



フィニッシャーについて（フィニッシャー装着製品のみ）

- フィニッシャーを装着しているときは、トレイ内のホチキスされる場所やローラー部に手を入れないでください。特にホチキス針にはご注意ください。けがの原因になることがあります。

カセットについて（カセット搭載製品のみ）

- カセットを引き抜いた状態で、本体内部に手を入れないでください。けがの原因になることがあります。

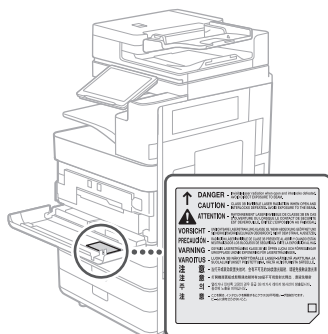
節電キーについて（節電キー搭載製品のみ）

夜間など本機を長時間ご使用にならないときは、安全のため節電キーを押してください。また、連休などで長期間ご使用にならないときは、安全のため電源を切ってから、電源プラグを抜いてください。

レーザー光について

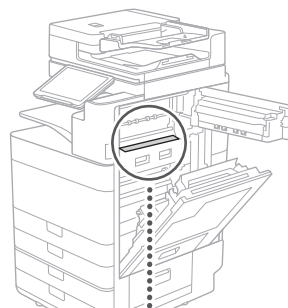
- この製品はIEC60825-1:2014およびEN60825-1:2014においてクラスIレーザー製品であることを確認しています。レーザー光は、人体に有害となる恐れがあります。そのため本機では、レーザー光はカバーや外装で遮蔽されており、お客様が通常の操作をする場合にはレーザー光が漏れる心配はまったくありません。安全のために以下の注意事項を必ずお守りください。
- このマニュアルで指示された以外のカバーは、絶対に開けないでください。
 - マニュアルで規定された、制御、調整および操作手順以外のご利用は、危険な放射線の露出を引き起こす可能性があります。万一、レーザー光が漏れて目に入った場合、目に障害が起こる原因になることがあります。

レーザー光の注意表示



定着器について

本体内部の定着器周辺は、使用中に高温になります。紙づまり処理などで内部点検するときは、定着器周辺に触れないように点検してください。やけどの原因になることがあります。また、定着器周辺に直接触れなくても、定着器周辺の熱に長時間さらされないように注意してください。低温やけどの原因になることがあります。



ご注意

- 本機にあるラベルなどの注意表示に従ってください。
- 本機に強い衝撃や振動を与えないでください。
- 開閉部を無理に開け閉めしないでください。故障の原因になることがあります。
- 動作中に電源スイッチを切ったり、本機のカバーを開けたりしないでください。紙づまりの原因になります。
- モジュラーケーブル、USBケーブルには、3m以内の長さのものを使用してください。

■ 安全規格関連の注意マーク

- ⓘ 電源スイッチオン（入り）
- ⓪ 電源スイッチオフ（切り）
- ⏻ スタンバイ（待機状態）
- Ⓛ プッシュプッシュスイッチ ■ “ON” ■ “OFF”
- ⚡ 保護接地端子
- ⚠ 内部に危険電圧有。カバーを外さないこと。
- ⚠ 注意：高温、触れないよう注意してください
- Ⓛ クラスII機器
- ⚠ 可動部有：可動部に触れないよう注意してください
- ⚠ 注意：感電の危険有。すべての電源プラグをコンセントから抜いてください
- ⚠ 鋭利なふち有。鋭利なふちに触れないよう注意してください

MEMO

お使いの機種によっては表記されていないマークもあります。

■ 保守／点検について

定期的な本機を清掃してください。ホコリなどがたまると、正しく動作しないことがあります。
お手入れをする際は、次の内容を必ずご確認ください。操作上問題が発生したときは、ユーザーズガイドの困ったときはを参照してください。それでも解決しない場合や点検が必要と考えられる場合には、お買い求めの販売店、またはキャノンお客様相談センターもしくは担当サービスにご連絡ください。

▲ 警告

- 清掃の前に、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。これをせずに清掃作業を行うと、火災や感電の原因になることがあります。
- 電源プラグは定期的に抜き、付着したホコリや汚れを乾いた布で拭き取ってください。ホコリが湿気を吸って電流が流れ、火災の原因になることがあります。
- 清掃のときは、水で湿らせ固く絞った布を使用してください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤や、ティッシュペーパー、紙タオルなどは使用しないでください。これらが内部の電気部品などに付着すると、火災や感電、静電気発生の原因になることがあります。
- 電源コードや電源プラグは定期的に点検し、発熱、錆び、曲がり、擦れ、亀裂がないかどうか確認してください。損傷した状態で使用し続けると、火災や感電の原因になることがあります。

▲ 注意

- 本体内部には高温／高電圧部分があり、むやみに手を触れるとけがややけどの原因になることがあります。マニュアルで説明されている以外の箇所に手を触れないでください。
- 用紙を補給するときや紙づまりを取り除くときは、用紙の端で手を切らないように、注意してください。

消耗品について

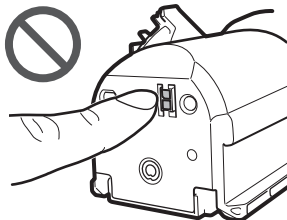
▲ 警告

- トナー容器や回収トナー容器は火中に投じないでください。また、トナー容器や回収トナー容器、用紙は火気のある場所に保管しないでください。引火して、やけどや火災の原因になります。
- トナーをこぼした場合は、トナー粉塵を吸いこまないよう、掃き集めるか濡れた雑巾等で拭き取ってください。掃除機を使用する場合は、粉塵爆発に対する安全対策がとられていない一般の掃除機は使用しないでください。掃除機の故障や静電気による粉塵爆発の原因になる可能性があります。

▲ 注意

- トナーなどの消耗品は幼児の手が届かないところに保管してください。万一、トナーを飲んだときは、直ちに医師に相談してください。
- トナーが衣服や手に付着したときは、直ちに水で洗い流してください。温湯で洗うとトナーが定着し、汚れが取れなくなることがあります。
- トナー容器は分解しないでください。トナーが飛び散って目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入ったときは、直ちに水で洗い流し、医師に相談してください。
- トナー容器からトナーが漏れたときは、吸い込んだり直接皮膚につけたりしないように注意してください。皮膚についたときは、石鹸を使い水で洗い流し、刺激が残るときや吸い込んだときは直ちに医師に相談してください。
- 回収トナー容器を引き出す際は、落下に注意してください。けがの原因になる恐れがあります。
- スタンピングカートリッジを交換するときは、インクで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れたときは、直ちに水で洗い流してください。

- 電気接点部には触れないでください。



ご注意

- トナー容器は直射日光の当たらない涼しい場所に保管してください。
- トナー容器を立てて保管しないでください。

おことわり

本体製品名称について

この製品は、販売されている地域の安全規制に従って、以下の () 内の名称で登録されていることがあります。
imageRUNNER ADVANCE DX
6000 (F178000)

電波障害規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としています。この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
なお、通信ケーブルはシールド付をご使用ください。

VCCI-B

電波法について

「本製品には、電波法に基づく工事設計認証を受けた特定無線設備（認可番号:007-AC0152）を用いています。」

電波に関するご注意

本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止し、お客様相談センター（お問い合わせ）へご連絡のうえ、混信回避のための処置など（たとえば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、お客様相談センター（お問い合わせ）へお問い合わせください。

2.4 DS/OF 4

2.4 : 2.4 GHzの周波数帯域を使用することを示します。

DS/OF : 変調方式にDS-SS方式およびOFDM方式を採用していることを示します。

4 : 想定される干渉距離が「40 m以下」であることを示します。

——— : 全帯域を使用し、かつ「構内無線局」「特定小電力無線局」「アマチュア無線局」帯域を回避可能であることを示します。

高調波の抑制について

本機器はJIS C 61000-3-2 高調波電流発生限度値に適合しています。

■ 原稿などを読み込む際の注意事項

著作物、通貨、有価証券、公文書などを原稿として読み込むか、あるいは複製し加工すると、法律により罰せられることがありますのでご注意ください。

著作物など

他人の著作物を権利者に無断で複製、加工することは、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲においての使用を目的とする場合を除き違法となります。また、人物の写真を複製すると、肖像権が問題となることがあります。

通貨、有価証券など

次のものを本物と偽って使用する目的で複製すること、またはその本物と紛らわしいものを作成することは法律により罰せられます。

- 紙幣、貨幣、銀行券（外国のものを含む）
- 国債証券、地方債証券
- 郵便為替証書
- 郵便切手、印紙
- 株券、社債券
- 手形、小切手
- 定期券、回数券、乗車券
- その他の有価証券

公文書など

次のものを本物と偽って使用する目的で偽造することは法律により罰せられます。

- 公務員または役所が作成した免許証、登記簿謄本その他の証明書や文書
- 私人が作成した契約書その他権利義務や事実証明に関する文書
- 役所または公務員の印影、署名または記号
- 私人の印影または署名

関係法律について

- 刑法
- 郵便法
- 著作権法
- 郵便切手類模造等取締法
- 通貨及証券模造取締法
- 印紙犯罪処罰法
- 外国二於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造二関スル法律
- 印紙等模造取締法

■ 資源再利用について

キャノンでは環境保全ならびに資源の有効活用のため、リサイクルの推進に努めております。回収窓口が製品により異なりますので、以下の内容をお読みいただき、ご理解とご協力をお願いします。

使用済み複合機・プリンターの受け入れ場所について
使用済みとなった複合機・プリンターにつきましては、次のように回収を行っています。お問い合わせ先にご注意してご連絡願います。



キャノンでは、環境保全と資源の有効活用のため、回収されたオフィス用、使用済み複合機・プリンターのリサイクルを推進しています。
使用済みの複合機・プリンターの回収については、お買い求めの販売店、または弊社お客様相談センターもしくは担当の営業にお問い合わせください。

なお、事情により回収にご協力いただけない場合には、廃棄物処理法に従い処分してください。

使用済みドラムユニット、トナー容器（カートリッジを含む）などの回収について

使用済みとなったトナー容器などにつきましては、次のように回収を行っています。お問い合わせ先に注意してご連絡願います。



キヤノンでは、環境保全と資源の有効活用のため、使用済みドラムユニットおよび使用済みトナー容器の回収とリサイクルを推進しています。

使用済みドラムユニット、トナー容器の回収については、担当のサービス店、または弊社お客様相談センターにお問い合わせください。

なお、事情により回収にご協力いただけない場合には、トナーがこぼれないようにビニール袋などに入れて、地域の条例に従い処分してください。

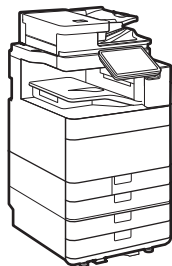
本書について

画面について

文中で使われている画面は、特に注意書きがない限り、imageRUNNER ADVANCE DX 6000にオプションの「2段カセットベディスタル・AM」、「スーパー G3FAXボード」を装着したものです。なお、オプションの組み合わせによって使用できない機能もありますが、この場合、画面にその機能は表示されません。

イラストについて

文中で使われているイラストは、特に注意書きがない限り、imageRUNNER ADVANCE DX 6000にオプションの「2段カセットベディスタル・AM」、「スーパー G3FAXボード」が装着されているものです。



プリンター専用モデルをご使用のお客様へ

プリンター専用モデルではプリント以外の機能はお使いになれません。

本書にはコピー / ファクス / スキャンの機能 / 操作説明も記載されていますので、必要な説明のみお読みください。

商標について

Macは、Apple Inc.の商標です。

Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Server、Internet Explorer、ExcelおよびPowerPointは、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

第三者のソフトウェアについて

お客様がご購入のキヤノン製品（以下、「本製品」）には、第三者のソフトウェア・モジュール（その更新されたものを含み以下、「第三者ソフトウェア」）が含まれており、かかる「第三者ソフトウェア」には、以下1～8のライセンス条件が適用されます。

1. お客様が「第三者ソフトウェア」に含まれる「本製品」を、輸出または海外に持ち出す場合は、日本国及び関連する諸外国の規制に基づく関連法規を遵守してください。
2. 「第三者ソフトウェア」に係るいかなる知的財産権、権原および所有権は、お客様に譲渡されるものではなく、「第三者ソフトウェア」の権利者に帰属します。
3. お客様は、「第三者ソフトウェア」を、「本製品」に組み込まれた状態でのみ使用することができます。
4. お客様は、権利者の事前の書面による許可無く、「第三者ソフトウェア」を開示、再使用許諾、販売、リース、譲渡してはなりません。
5. 上記にかかわらず、お客様は、以下の条件に従う場合のみ、「第三者ソフトウェア」を譲渡することができます。
 - お客様が「本製品」に関するすべての権利、および「第三者ソフトウェア」に関するすべての権利および義務を譲渡すること
 - お客様から譲渡を受ける者が、「本製品」に附帯する条件に同意していること
6. お客様は、「第三者ソフトウェア」の全部または一部を修正、改変、逆アセンブル、逆コンパイル、その他リバースエンジニアリング等することはできません。
7. お客様は、「本製品」に含まれる「第三者ソフトウェア」を除去したり、「第三者ソフトウェア」を複製してはなりません。
8. 「第三者ソフトウェア」中のソースコードについては、お客様にいかなるライセンスも許諾されません。

「本製品」には、上記1～8のライセンス条件にかかわらず、別途固有のライセンス条件が適用される「第三者のソフトウェア」が含まれます。「本製品」のプラットフォームバージョンをご確認のうえ、下記のホームページを参照していただき、該当するプラットフォームバージョンの取扱説明書に記載されている『付録』の「第三者のソフトウェアについて」をご確認ください。

<https://oip.manual.canon/>

「本製品」をご利用になられた場合には、お客様は、「本製品」に適用されるすべてのライセンス条件に同意したものとさせていただきます。お客様が、ライセンス条件に同意できない場合、担当サービスにご連絡下さい。

以上

V_190920

もっと詳しく知りたいときは？



ユーザーズガイドで調べましょう！

ユーザーズガイドでは、本機の全機能を説明しています。



▲「検索」で調べる

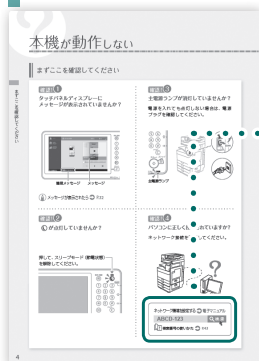
▲「もくじ」で調べる

ユーザーズガイドを見るには
オンラインマニュアル
サイトを表示する



<https://oip.manual.canon/>

本書の項目に検索番号がついていたら…



ネットワーク環境を設定する ➡ ユーザーズガイド

ABCD-123

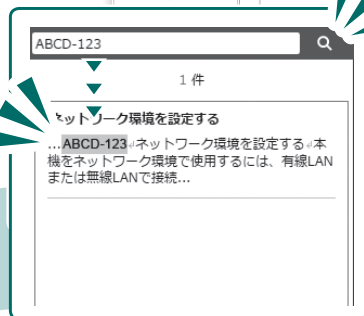
検索

検索番号の使いかた ➡ P.47

検索番号 (例)

検索番号で
ユーザーズガイドを
検索！

お探しの
ページを
一発表示！



ユーザーズガイドで調べましょう！

お問い合わせ

本機についてのご質問や修理のご依頼は、お買い上げ販売店または弊社お客様相談センター、もしくは担当サービスへお問い合わせください。各種窓口は、キヤノンホームページ（<https://global.canon/>）内のサポートページでご確認いただけます。



Canon

キヤノン株式会社／キヤノンマーケティングジャパン株式会社
〒108-8011 東京都港区港南 2-16-6

